

○森林総合研究所研究報告Vol.3-No.2(通巻391号)刊行(2004年6月発行)

論文

カシノナカキクイムシの雄が穿入したオートクレープ処理ナラ丸太の雌雄に対する長期的誘引力(英文)
 上田明良・小林正秀

崩壊の流動化機構ならびに到達距離予測に関する研究
 大倉陽一

グリーンアノールが小笠原諸島の昆虫相、特にカミキリムシ相に与えた影響
 -昆虫の採集記録と捕食実験からの評価-
 横原 寛・北島 博・後藤孝章・加藤 徹・牧野俊一

中国黄土高原における原位土壌表面流出実験
 張 建軍・清水 晃・坪山良夫

富士山麓シラビソ林に発生したトウヒツツリハマキの天敵系統調査
 島津光明・大澤正嗣



表紙: Vol.3-No.2
(通巻391号)

○森林総合研究所研究報告Vol.3-No.3(通巻392号)刊行(2004年9月発行)

論文

スギとベイツガをたて継ぎしたフィンガージョイント材の曲げ・引張強度特性
 林 知行・宮武 敦

マツノマダラカミキリ穿入アカマツ樹幹を用いたサビマダラオオホソカタムシの野外放飼試験(英文)
 浦野忠久

水生昆虫の指標種モニタリングのための効率的な採集方法(英文)
 吉村真由美・前藤 薫

森林総合研究所構内のチョウ類相
 井上大成



表紙: Vol.3-No.3
(通巻392号)

研究資料

小笠原諸島の植物の開花期に関する観察資料
 安部哲人・安井隆弥・和田勉之・和田美保・加藤夕佳・
 牧野俊一・大河内勇

森林土壌からの温室効果ガスフラックス測定法(英文)
 阪田匡司・石塚成宏・高橋正通

酸性雨等の森林生態系への影響モニタリング
 -森林総合研究所(つくば市)における降水の調査-
 伊藤優子・加藤正樹

酸性雨等の森林生態系への影響モニタリング
 -関西平林における酸性降水下物-
 金子真司・荒木 誠・古澤仁美・後藤義明・服部重昭・
 平野恭弘・井筒裕司・伊東宏樹・加茂純三・清野嘉之・
 小林忠一・小南裕志・深山真文・南部 桂・西本哲昭・
 竹内郁雄・玉井幸治・千葉幸弘・鳥居厚志・吉岡二郎

酸性雨等の森林生態系への影響モニタリング
 -木曾御岳山の亜高山帯針葉樹林における降水の調査-
 酒井寿夫・仙石徹也・原 光好・森澤 猛・坪田 宏・
 岩本宏二郎・荒井園幸・小澤孝弘

酸性雨等の森林生態系への影響モニタリング
 -木曾御岳山の亜高山帯上部2林分における毎木・植生・土壌断面調査報告-
 酒井寿夫・仙石徹也・原 光好・森澤 猛・坪田 宏・
 岩本宏二郎・荒井園幸・小澤孝弘

○平成17年度多摩森林科学園森林講座のお知らせ

多摩森林科学園では園内の「森の科学館」で森林講座を開講します。これは、森林総合研究所の研究成果を一般の方々にわかりやすく講義し、森林や林業への興味をさらに深めていただくために行うものです。
 平成17年度の講座は以下のとおりです。どうぞお気軽に多摩森林科学園までお申し込みください。

6月30日(木)

マツタケ、意外と知られていない素顔

菌根菌ってご存知?実はマツタケは菌根菌の仲間なのです。マツタケと菌根菌の生物学についてお話しします。



講師: 村田 仁
(きのこ・微生物研究領域主任研究官)

7月28日(木)

早刈りコッコ樺(ニフトリ)で山火事防止

里山の手入れが悪いと山火事が起こりやすいのでニフトリを放し飼いにして山火事を防ぎます。



講師: 吉武 孝
(気象環境研究領域 気象害・防災研究室長)

8月25日(木)

木材利用と二酸化炭素削減

木材を積極的に利用することで、地球温暖化の原因となる大気中の二酸化炭素を削減することができます。



講師: 外崎真理達
(木材特性研究領域 物性研究室長)

9月30日(金)

きのこの名前を調べる

日本のきのこのうち、名前がついているのは約3千種。名前のつけ方、調べ方、由来についてお話しします。



講師: 根田 仁
(きのこ・微生物研究領域主任研究官)

10月21日(金)

森の王者、森を漁られる

豊かな森の象徴、ツキノフグマ。一方で農林作物被害、人身被害も多く発生しています。その背景を探ります。



講師: 岡 輝樹
(東北支所 生物多様性研究グループ主任研究官)

11月15日(火)

燃える木を燃えなくするには

木はどれも同じように燃えると思いませんか?燃えるはずの木材も工夫次第で火事に負けない材料に変身。



講師: 原田寿郎
(木材改良研究領域 木質防火担当チーム長)

12月1日(木)

緑化は地球を救えるか

温暖化等の環境悪化を防ぐため様々な緑化(植林)の試みがされています。その研究最前線をご紹介します。



講師: 田内裕之
(森林植生研究領域 植生管理研究室長)

平成18年1月13日(金)

京都議定書と森林

京都議定書は地球温暖化防止のための国際的な約束ですが、その中の森林の役割についてお話しします。



講師: 松本光郎
(林業経営・政策研究領域 林業システム研究室長)

開講時間は13:15~15:00です。

受講料は無料ですが、入園料として、大人300円、子供50円(小~高校生)が必要です。

申し込み方法

往復はがきに (1)受講したい講座名 (2)住所 (3)氏名 (4)年齢 (5)職業 (6)電話番号 をお書きの上、下記宛先へお申し込みください。申し込みの締切りは、講座日の2週間前までです。

交通

JR中央線・京王線高尾駅北口から徒歩約10分



駐車場がありませんので、お車でのご来園はご遠慮ください。